

小型建設機キャビン製造では国内トップ 積極的なIoT導入で顧客ニーズに対応

1974年、建設機械や農業機械等のキャビン（オペレーターが乗車する部分）の専門メーカーとして創業以来、優れた開発力と柔軟な対応力で業績を伸ばしている。特に、小型建設機械分野では国内多くの主要メーカーにキャビンを供給しており、トップクラスのシェアを獲得している。近年、積極的にIoTを導入し、安全性・機能性に加え操作性やデザイン性等ユーザーニーズを先読みした顧客満足度の高い製品提供を実現している。

●所在地	石川県白山市竹松町2810	●設立	1974年
●電話／FAX	076-276-2141／076-276-2654	●資本金	8,400万円
●URL	https://www.kyowa-cab.co.jp	●従業員数	398人
●代表者	代表取締役社長執行役員 高井 俊一		



多様化するユーザーニーズに応える一貫生産体制の構築

建設機械のキャビンに求められるニーズは、従来からの安全性や機能性に加え、デザイン性や機能性等多様化、高度化している。このようなニーズに応えるため、設計・開発から部品・部材の調達、塗装・組立・検査・納品に至るまで一貫した連携体制を構築し、生産性向上、コスト削減、多品種少量生産と的確な納期の実現等、満足度の高い製品の供給を実現している。また、海外展開しているユーザーのニーズを的確に把握するため、中国・タイに現地法人を設立する等、海外展開にも取り組んでいる。



出荷待機場

ユーザー、サプライヤーまでつながるIoTシステムの活用

自社開発のIoTシステムを活用することで、開発の初期段階からコスト・品質・生産性を織り込みながら生産部門と緊密に連携しつつ試作開発を同時並行的に行い、ユーザーニーズに対応した付加価値の高い製品の提案を可能としている。また、製造現場においても作業者が携帯するスマホやタブレットを活用することで業務の効率化を実現するとともに、一部のデータをユーザーやサプライヤーと共有することで、進捗状況の共有や資材の自動発注を実現している。



部品ピッキング端末

積極的な人財投資による人財の多様化

自社Webサイトの工夫や民間就職サイトの積極的な活用により、毎年10名程度の新規採用に加え、システムエンジニア等の中途採用や大手企業OBの採用により人財の多様化を図っている。また、設計開発部門への若手女性社員の配属、製造現場に大手企業OB、中途採用者、外国人技能研修生等が共同した生産現場を実現する等、多様な人財が働きがいをもって仕事ができる環境の整備に努めている。さらに、自発的な提案や地域ボランティア活動への参加を推奨する等、企業文化の創生にも注力している。



ミーティング風景